

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

住む論理の追求。社会の課題と向き合い持続可能な賃貸経営を実現する。

配当性向
40%以上DOE
10%程度

② 中長期の経営戦略

1. プラットフォーム拡大

運用戸数の拡大とシナジー創出を企図したM&Aによる成長を推進。

2. 付加価値向上

パートナーネットワークを活用した収益源の多角化を進める。

3. PropTech活用

AIとDXの融合により賃貸住宅業界の課題解決を推進。管理業務の品質向上と効率化を両立。

4. 経営基盤強化

人的資本など経営基盤の強化を図り、戦略実現を支える体制を整備。

③ 対処すべき課題

① 競争優位性の強化

- 運用データの蓄積と活用体制構築
- 人的資本・組織資産の強化
- PropTechを活用した賃貸経営代行の効率化・高度化

② キャッシュ・フロー最適配分

- 成長投資と株主還元の適切なバランス配分
- 財務健全性を維持しながら有利子負債を活用した成長投資

③ ESG経営推進

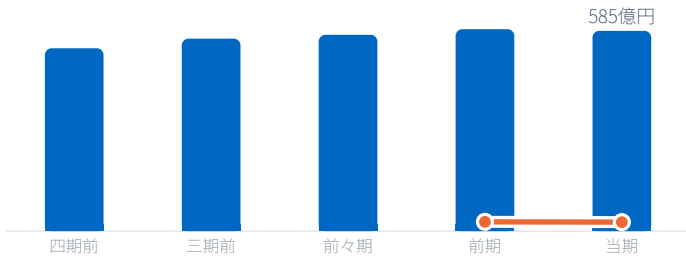
- サステナビリティのマテリアリティ特定と事業統合
- 既存物件を中心としたリユースエコノミーの推進

面接で使えるポイント

- パーパス『住む論理の追求』のもと、オーナー資産最大化を実現するビジネスモデル特性を理解する。
- 全国規模のパートナーネットワークと金融機関提携を活用した競争優位性の源泉を把握する。
- PropTechによるAI・DX融合で賃貸住宅業界課題解決に取り組む企業姿勢を認識する。

証券コード 3276

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
株式会社JPMC（証券コード：3276）事業要約
…

主力事業・セグメント

- ・不動産業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
585億円営業利益率
4.5%財務健康度
58点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 42.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
527万円

不動産業内 109位/130社

平均年齢
32.3歳

不動産業内 118位/131社

平均勤続
4.4年

不動産業内 94位/131社

女性管理職
2.7%

不動産業内 75位/76社

男性育休
50.0%

不動産業内 38位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株) J P M C 【3276】：決算情報

